

ロシアに伝わる気象俚諺（1）

The Russian proverbs of weather forecast

文学研究科社会学専攻博士前期課程修了

大 谷 光 子

Mitsuko Otani

はじめに

第一章 風に関する気象俚諺

第二章 雨に関する気象俚諺

第三章 雲に関する気象俚諺

第四章 雪に関する気象俚諺

おわりに

はじめに

ロシアの農民の間では深く長い経験から生まれた民衆の知恵として数多くの気象予報知識が古くから受け継がれてきた。土壌の豊かさや農作業技術の良し悪し以上に天候の変化が農作物の豊凶に影響を与えることから、農民たちは自分の身の周りの自然・動植物・大気現象・天体運行をすどく観察し、その変化・前兆を読み取り、そこから近かれ遠かれ将来の天気を予見することで農作業の行程を決め、毎年の豊凶を予測してきた。そういった先人の知恵や経験が、それぞれの土地に住む人々の間で長きに渡り言い習わしとして語り継がれてきたものが気象俚諺である。

こういった民間気象予報に関して科学はしかるべき説明を今のところまだ見つけていないが、だからといってこれらは決して否定できるものではない。自然界の全てのものはお互いに関連しあっていて、こういった関連性を知らないという理由でその存在や規則性を否定することはできない。

これまで民間に伝わる気象に関する観測ではできるだけ多くの実例を各地から集めることが主であったが、これは研究の第一段階として当然であった。次の段階としてはこれらを分類・整理し、本論文では民族学的な側面からの研究を行う一方、現代的意味での気象学的性格を検証する。

なお、ロシアの気象俚諺に関して現在のところ日本語で記載された文献・資料がないため、A.Ермолов《Народное погодоведение》(Москва、1905)を基礎にして研究した。また、ロシアに限らずブルガリアやセルビア、コーカサス、フィンランドといった近隣諸国の気象俚諺も取り入れた。

第一章 風に関する気象俚諺

第1節 風と民衆

冬の寒さや夏の暑さといった季節ごとの状況は太陽とそれによって暖められた地面との関係によって起こる。地面と大気の温度差によって風が発生し、その風の流れ方が日々の天気を変化させている¹⁾。風の観測に基づいた天気予知は精度が高い場合が多く、様々な民族の間で風に関する気象俚諺が用いられている。風の変化は低気圧や高気圧の到来と大きな関わりがあることから、天気の変化と結びついていることが多い²⁾。

天気は高気圧・低気圧、気圧の谷など気圧配置の変化や前線の動きによって変わるので、それに伴う風の向きや前線の強さは天気を予想する上では当然大切なものになる。そこで、人々は風に注目し、風と天気の相関を見つけ、風による天気予報や、風の強弱の予想を体験的に行ってきた³⁾。数日以内の短期的な天気予報だけではなく、数週間先の天気を読み取る中期予報、またさらには数ヶ月先まで見越した長期予報を行うために、風向きや吹き方、寒暖、発生する時間帯に注目してきた。

第2節 風と悪天候

風に関することわざの中でも、特に悪い天気に結びついているものが多く、民衆が雨や雪、嵐といったものを少しでも早く予測することで農作業の予定を立てたり、大災害に備えようとしたりする姿勢がうかがえる。実際、雨は低気圧が通るときに降ることが多く、低気圧が近づくと風が吹き出し、風の動きが変化したりすることから、風と雨との関係に関心が持たれていた⁴⁾。

「風が強ければ雨も強い。」(ロシア)

Сильный ветер сильный и дождь.

「雨が一日降ってから風が出始めるとさらに2、3日は雨となる。」(チュヴァシユ)

Если один день шел дождь и появился ветер то будет ещё 2-3 дня дождь.

「風の来る方から雨も来る。」(スモレンスク)

Куда ветер туда и дождь.

「長い無風状態の後に風が吹き出すと雨。」(チュヴァシユ)

Если стояло долгое время затишье и подул ветер будет дождь.

「長く続いた静かで暖かい状態の後に風が吹き出すか、あるいは強い風が止むと雨が降り出す」(セルビア)

Если долгое время было тепло и тихо и начался ветер или если был сильный ветер , да перестал то пойдет дождь.

第3節 風向き

日々の風は、低気圧や高気圧が周期的に通過するたびに变化する。偏西風帯では西から低気圧が近づくと南寄りの風が吹き出して、しだいに東寄りの風になって天気が悪くなり、低気圧が去って高気圧が接近すると北寄りの風になり、さらに西寄りの風が吹いて雨が止んだり空が晴れたりして天気が回復してくる⁵⁾。もっとも、低気圧が通過する位置によって風向きも変わり、また、地形によって風は著しく影響を受けることから、一概には言えない。中小規模の風系の風の影響を考慮すると地域ごとに風向きや天気の変化のしかたは様々である。さらに季節によって風向きと天気の関係が変わるものもあり、必ずしも風向きは原則通りにならない⁶⁾。

海に面した土地では、天気がよく気圧経度が弱くて一般流が小さいとき、昼間は陸上が海洋に比較して相対的に暖かく、夜は逆になる。したがって日中は海洋から内陸に向かって風が吹き（海風）、夜間は内陸から海洋へ噴吹き出す（陸風）。両者を合わせて海陸風と呼んでいる。海風の及ぶ範囲はだいたい海岸から20～30 kmで、陸風はそれより小さい。また、大きな湖においても同じような現象が起こり、これを湖陸風と呼んでいる⁷⁾。

海陸風が発達するのと同じような気象条件のとき、昼間は麓から吹き上がり、夜間は山頂から吹き降りる風がある。前者を谷風、後者を山風といい、両者を合わせて山谷風と呼んでいる。さらに斜面に沿って吹く風のことを斜面風ともいう⁸⁾。こういった地域ごとの風を局地風といい、場所によって昼間の暖まり方や夜間の冷え方が違うために、冷えた重い空気が暖かい空気の方へ流れることによって起こる風である⁹⁾。

広大な土地にそびえたつほどの山々は非常に天気の変化に対して大きな影響力を持っている。例えば、シベリアのウラル山脈沿いの地方で指摘されているところによると、ウラルの西側斜面では西風は大量の湿気を含んでいてそれを山にもたすが、山を越えてしまうとすっかり乾いてしまう¹⁰⁾。同様に、中央アジアに吹くスホヴェイ（乾燥した風）と呼ばれる風は太陽によって熱せられた砂でおおわれている草原を吹く乾いた熱風で、特に6～8月に多く、この風が吹くとその土地の大気をすっかり乾燥させ、気温は35～40度になり、植物が枯れるともいわれている¹¹⁾。

（1）南寄りの風

西から移動してきた低気圧の前面では南風が吹くこととなる。したがって、南風が吹けばやがて低気圧が来て雨が降ることが多い¹²⁾。そのため、「南風が吹くと雨が降る」とか「南風が吹くと天気が崩れる」といったことわざが各地でよくいわれている。

「南風は暖かさをもたらす。」（シンピルスク）

Южный ветер тепло приносит.

「何日か続けて南風が南東の風が吹きつづけたら雨。」（チュヴァシュ）

Дождь будет, если несколько дней подряд дует ветер с юга и юго-запада.

「南（あるいは西）から風が吹くと、夏は天気が悪くなり、冬は暖かくなる。」（チュヴァシユ）

Если ветер дует с юга（или запада）летом к ненастью, зимой к теплу.

「南東の風が吹くと悪い天気が長く続く。」（チュヴァシユ）

Ветер с юго-запада ненастью дотянется надолго.

「南風が吹き出し、その風がさらに別の風をもたらすと、夏には雨が降り、冬には雪が降る。」（ブルガリア）

Если подует южный ветер, приведет с собою и другой, летом будет дождь, зимою снег.

「南風が吹くと必ず他の風も吹き出す。」（ブルガリア）

Все южный, да южный ветер, придет, однако, и другой.

（２）西寄りの風

西寄りの風に関する事わざは少ない。

「西の風は泣きながら雨をもたらす。」（オロネツ）

Западный ветер плаксун, плачет, дождь приносит.

「西からの風が吹くと晴れて寒くなり、激しい嵐がやってくる。」（シンピルスク）

Если ветер дует с запада прояснеет и станет холодно, будет сильная буря.

（３）東寄りの風

低気圧が通過する位置によって風向きが変わったり、地形によって風が著しく影響を受けたりする場合、場所によって西の方から低気圧が近づいた際に、その前面では東寄りの風が吹くことがある。また、強い東風だと西から移動してくる低気圧や高気圧の移動を妨げることから同じ天気を長引かせることがある¹³⁾。

「夏に東風が吹くと干ばつになる。」（ヴォロネジ）

Ветер с востока во время лета к засухе.

「東風がもたらした雨は長引く。」（シンピルスク）

Если восточный ветер приносит дождь, то он продлится надолго.

「東からの突風がうなりをあげると冬は寒さが長引く。」（ハリコフ）

Восточный порывистый ветер со свистом к продолжительному холоду зимою.

「冬に東から風が吹くと寒くなる。」（キルギス）

Если зимою ветер с востока к холоду.

(4) 北寄りの風

低気圧の前面では南寄りの風が吹くが、通り過ぎるとその後面では北寄りの風が吹く。つまり、北寄りの風が吹くということは低気圧が通り過ぎた証拠であり、雨を追い払って晴れた日を長くもたらししてくれる。冬の北風は他のどの風よりも厳しく、どの地方でも寒さや雪にまつわることわざが多く伝わっている。

「北風は寒さを呼び起こす。」(ロシア)

Северяк нагонит холоду.

「冬に北から風が吹き始めるととても寒くなる。」(チュヴァシユ、シンピルスク)

Если ветер подул с северной стороны зимою будет очень холодно.

「北風と西風は冬には雪をもたらし、夏には雨をもたらす。北風は長く吹かない。」(セルビア)

Ветры северный и западный приносят зимой снег, летом дождь. Они никогда долго не дуют.

「冬に北から風が吹くと次の日は吹雪。」(ロシア)

Если зимою ветер дует с севера, то на следующий день будет буря.

「冬に何日か続けて北風が吹くと嵐か吹雪。雪はひっきりなしに激しく降る。」(ハリコフ)

Продолжительный, несколько дней сряду, северный ветер зимою предвещает бурю и снежную метель, причем снег будет крупный и частый.

「夏に北から風が吹き出すと晴れて少し肌寒くなる。朝冷えか雹をとまなう雨になる可能性あり。」

(チュヴァシユ)

Если летом ветер подул с северной стороны будет день ясный, может быть заморозок или градовой дождь.

第4節 季節風

季節ごとの風についてのことわざは、土地ごとにその季節に起こりうる特有の現象と深く関わっている場合が多い¹⁴⁾。

「春の風は木々のつぼみをだめにする。」(ロシア)

Весною ветер разбивает почку на деревьях.

「夏に風がうなると雨。」(チュヴァシユ)

Если летом ветер воеет к дождю.

「夏に暖かい風が吹き出すと雨。」(チュヴァシユ)

Если летом подует теплый, горячий ветер к дождю.

「冬に風が吹いて霜がおりなければ猛吹雪。」(ロシア)

Если зимою дул ветер и не было инея будет буран.

第5節 風の吹き方

さらに風の吹く方角とは別に、風向きそのものに注目しているものがある。相反する方角に風向きが変化する場合や正反対の方角からぶつかり合うように吹き合う風というのは、低気圧や高気圧が移動して大気の流れになんらかの変化が生じたことを示すものであり、近いうちに天気に変化する可能性が非常に高い¹⁵⁾。

「東からだけ吹いていた風が突然正反対の方向から吹き出すとまもなく雨になる。」(チュヴァシユ)

Если восточный ветер дул с одной стороны и потом вдруг переменялся и начинает дуть с противоположной скоро будет дождь.

「向かい風が吹くと雨か雪をもたらす。」(ブルガリア)

Встречные ветры принесут с собою дождь или снег.

「暖かい風と冷たい風がぶつかりあうと雨になりやすい。雨が降らなければどんな場合であれ霧が出るかどんよりとした空模様になる。」(セルビア)

Если встретятся два ветра, теплый и холодный, то легко может быть дождь ; но если его нет, то во всяком случае будет туман или небо пасмурное.

第二章 雨に関する気象俚諺

第1節 雨の潤い

雨はその日の農作業に大きな影響をあたえるばかりでなく、農作物の作柄にも大きな影響を与える。雨の降る日が多いと、とかく屋外での農作業がおくれて、そのために農作物の出来が悪くなることがよくある。また雨の量が多いと農作物は病害にかかったり、受精がさまたげられたりして作柄の悪くなることもよくあり、さらに雨が多くなると水害が発生することもある¹⁶⁾。しかし、雨なくして地中の植物も農作物も育つことはなく、乾いた大地を潤し、人々を養うことから「雨は神からの祝福(Дождь - Божье благословенье.)」とも言われるくらい大切なもので、雨が不足すると干害が発生して大きな被害を受けることがある¹⁷⁾。雨がいつどのようにして降るかということをよく理解しておくことは民衆にとっては非常に大切なことであった。

第2節 雨の降り方

雨は空気が上昇するときに降る。どのような原因で空気が上昇し雨が降るのか。まず、地形の影響

をうけて雨が降る場合がある。風が山にあたるとその山の面によって風が吹き上がると、そこに雨が降る。このような原因で降る雨は、風が山に吹き当たって上昇して降るのであるから山寄りの地帯によく降る¹⁸⁾。二番目は低気圧によって雨が降る場合である。低気圧は中心ほど気圧が低いためにその中心をめがけて周囲の気圧の高いところから空気が流れこんでくる。この流れこんできた空気は他に行き所がないので上昇することになる。それで低気圧の内部には上昇気流が起こることになり、このために雨がよく降る。地形に原因する雨は、その降る場所や時期がだいたい一定しているが、低気圧による雨は、その低気圧の通り方によってちがってくるので場所によっても降り方が非常に違ってくる。このような低気圧による雨は、ときに豪雨となり水害の原因となる¹⁹⁾。さらに、不連続線にともなう雨の場合は、性質のちがった空気が相接触しているときに、この接触面がいずれかの方向へ移動すると、この接触面に沿って温度の高いほうの空気、すなわち軽い空気が上昇するので、そこに雨を降らすことになる。ここでいう接触面がいわゆる不連続線である。不連続線にともなう雨は低気圧にともなう雨の場合と同じように、降る場所や、時期が一定しないばかりでなく、水害の原因ともなることがよくある²⁰⁾。最後に、輻射に原因する雨がある。太陽により地面が不均一に熱せられると、とくに熱せられた部分の地面近くの湿った空気が上昇するので、これが雨の原因となる。熱雷はこの種の雨の代表的なもので、このような原因による雨はおもに夏に降る²¹⁾。

雲中で雨滴の生成される原因としては、おもなものととして次の二つが挙げられる。一つは水蒸気の凝結によって成長するもので、暖かい雨のおもな原因である。もう一つは氷晶の成長が関係する雨であって、これは冷たい雨のおもな原因である。暖かい雨でも冷たい雨でも、大気が冷却され過飽和状態になり雲ができる必要がある²²⁾。

第3節 雨と雲

どのような原因による雨であれ、大気が冷却され過飽和状態になり雲ができる必要があるから、雲の出現を観察することは雨を予測するにあたって最もわかりやすい方法である²³⁾。特に西の空の雲は西から東への低気圧の移動にともなう場合が多く、次第に天気は崩れてくる可能性が高い。しかし、「全ての黒雲が雨を連れてくるわけではない(Не все тучи с собою дождь несут.)」ということわざがあるように²⁴⁾、雲が必ずしも雨を降らせるわけではない。

「雲が出て雨になる。」(ロシア)

Наволок пошел дождь будет .

「空が曇ると天気が悪くなる。」(ロシア)

Небо принасушилось знать, ненастье станет.

「西側が晴れている(雲に覆われていない)と雨はこない。」(アルメニア、エレヴァン)

Если запад чист (не покрыт облаками) дождя не будет.

第4節 雨の来る方角

雨の発生の原因は上でも述べた通り様々であり、また地形的な影響を大きく受けることから、雨の降る状況については一概には言えないが、民衆はそれぞれの地域ごとの地理的特徴と雨の降り方の間に関連性を見出し、風向きや空模様から雨の近づく様子を予測し、これから来る雨がどのような降り方をするかを判断した²⁵⁾。

「南西の風が吹くと雨。」(ロシア)

Гнилой (юго западный) ветер надует дождя.

「東風は雨と一緒に連れて来ることはない。」(ロシア)

Восточный ветер николи дождя не принашивал.

「雨が北から来ると大荒れとなって寒くなる。」(チュヴァシユ)

Если с севера идет дождь ,будет очень бурно и холодно.

「風に逆らって雨が降るととても激しくなる。」(チュヴァシユ)

Против ветра идущий дождь бывает очень сильный.

第5節 雨と藻・カビ

低気圧が近づいて来るときにはその前面では、まず南寄りの暖かい風が吹き始めるために気温が高くなる。暖かくなると地面の温度や池や沼や川などの水温もそれにつれて高くなり、藻やカビが発生しやすくなる²⁶⁾ことから、これらが見られると雨の前触れとされている。

「雨の後に沼が緑でおおわれるとさらに雨が続く。」(リトアニアのコヴノ)

Если после дождя болота зазеленеют, то будет еще дождь.

「雨の後に地面がカビにおおわれるように緑色になるとさらに雨。」(コヴノ)

Если земля после дождя зеленеет, точно обтянется плесенью будет еще дождь.

第6節 雨と泡

雨粒が落ちるときに泡が出ると雨が長く降るとされているが、これはすでに雨が降り続いたことで地面に水たまりができ、そこに雨が落ちて泡が形成されているのを見て、雨の日が長いことを言っているものと考えられる。乾いた場所や浅い水たまりでは泡はできにくく、ある程度水が溜まった水たまりに雨が勢いよく連続して落ちると、空気がいったん水と共に水中に入った後、浮き上がって泡となる²⁷⁾。

「水面に落ちた雨粒で泡ができると悪い天気が続く。」(ペルミ)

Если от капель дождя на воде образуются пузырьки, к продолжительному ненастью.

「大粒の雨が降ると丸1週間雨が絶え間なく降る。」(アルハンゲリスク)

Дождь большими пузырями предвещает, что во всю ту неделю он будет непрестанно идти.

「雨が降ってその滴が泡となると雨はさらに長く降る。」(ブルガリア)

Если идет дождь и от капель его образуются пузырьки, дождь будет идти еще долго.

「雨の泡がすぐに割れると雨はもうすぐやむ。泡が残ると雨は長引く。」(ブルガリア)

Если дождевые пузырьки лопаются сразу дождь скоро перестанет: если же они остаются дольше, то дождь будет продолжительный.

第7節 雨と音

「いつも反響のよい所に雨の後に出かけて大声を出す。『音の反響がにぶければ悪い天気が続き、反響がよければ晴天。』」(スモレンスク)

После дождя отправляются в такое место, где обыкновенно раздаётся эхо, и кричат: если отголосок-эхоглухой (немой), то непогода продолжится, а если эхо звучное, то будет ведро.

晴れた日の気温は、下層の方が高く上層にいく程低くなっているが、曇りになると下層と上層の気温差が少なくなり、逆転といって上層のほうが下層より気温が高いこともある。空気は温度が低い方が密度が高く、音は密度の高い空気中の方が伝わりやすいことから、曇りの日のように下層と上層の空気の密度にあまり違いがないときは、音は上層に行かずに四方に拡がるようになる。さらに湿度が高いこともこの現象を助長するようである。したがって、雨の降りやすいときには、遠くの音がよく聞こえたり、音の響きが変わってきたりする²⁸⁾。

第三章 雲に関する気象俚諺

第1節 雲の観察

雲は目に見えない大気の流れを表してくれる唯一の手がかりである²⁹⁾。民衆は雲を日々観察し、そこから上空の空気の流れや温度変化を読み取り、天気を先読みしようと努め、その予測を日常生活や農業活動に役立てていた。

雲に関する気象俚諺には雲の形によるもの、雲の流れや方向によるもの、雲の色によるもの、雲の出ている方角によるもの、雲の状態によるものなどさまざまなものがある³⁰⁾。中でも特に多い気象俚諺は雨雲を観測してその結果に基づいて雨の接近を判断するものである。

第2節 雲の分類

雲は現れる高度によって上層雲、中層雲、下層雲に大別され、さらに雲の形状によって10種類の雲形に分類される。この分類は世界気象機関(WMO)で定められた分類法で国際的に決められているため、雲の観測結果は天気予報や気候学に世界的に利用されている³¹⁾。今日ではそれぞれの雲が発生するメカニズムが明らかにされているが、そのような情報のない時代に生み出された気象俚語のうち到现在でも通用するものは実に多く、信頼性の高いものが含まれている。

(1) 上層雲

上層雲(高さ6~13km)には絹雲、絹積雲、絹層雲がある。青空に刷毛ではいたような白い雲が絹雲、白い波形やうろこ形をした雲は絹積雲、全天をペールのように覆う雲が薄雲と呼ばれる絹層雲である。絹層雲に覆われると薄曇りになる。これらの雲からは雨は降らないけれども、上層雲が広がってくるのは天気が悪化する前兆である。低気圧や温暖前線が近づくと、まず絹雲が現れ、やがて空一面が薄雲(絹層雲)で覆われるようになる。絹雲から絹層雲に変わる間に、短い時間ではあるが絹積雲が現れることもある。いずれにせよ絹雲、絹積雲、絹層雲ができるのは低気圧や前線が接近していると考えられるので、近いうちに天気はくずれると見てよい³²⁾。

「すじ雲が出ると雨、冬だと暖かくなる。」(チュヴァシュ)

Облака полосами (волокнистые) к дождю, зимой к теплу.

「すじ雲が出ると2日以上天気が悪くなる。」(チェレミス)

Перистые облака предвещают ненастье от двух дней и более.

「空が乳白色になると雨。」(チュヴァシュ)

Если небо сметанится принимает молочный

(2) 中層雲

中層雲(高さ2~6km)には高積雲がある。絹積雲によく似ているがそれよりも、もっと大きく、ぼってりとしていて、牧場に遊ぶ羊の群れのような感じのする雲が高積雲である。高積雲は上空に不連続のあることを示している。中層の高さによく出る高層雲というのは空一面がぼんやりして、太陽や月がその存在はわかるが形が見えなくなる。この雲が空一面を覆うと高曇りになるがまだ雨は降らない。下層に現れる乱層雲は雲底が低く、黒い不定形の雲が一面にひろがる雨雲で、この雲の上には上昇気流による雲があるので雲の層が厚く黒く見える。雨を降らせる雲であってこの雲の頭は中層または上層にまで広がることもあるから分類上は下層雲としない。いずれも天気の悪くなる雲である³³⁾。

「黒雲が最初は小さくて、後に広がってくると昼は南から雨になる。」(チュヴァシュ)

Если тучи сперва маленькие, а потом расширяются, будет днем дождь с юга.

「黒い雲がひとつにまとまると天気が悪くなる。」(ロシア)

Сбежались тучки в одну кучку быть ненастью.

「春、雪が消えるところに北東の地平線から何日か続けて黒い雲が見えてくると天気は寒くて雪となる。」(カレリア、オロネツ)

Если весной, по сходе снега, с северо-восточной стороны горизонта виднеется несколько дней подряд темное облако, то надо ожидать холодной погоды и даже снега.

(3) 下層雲

下層雲には層積雲、層雲、積雲、積乱雲がある。薄黒い雲が堤のように並んで誰が見ても天気があまり良くないと思うような雲が層積雲である。雲の塊の間から青空が見えることもある。層雲はごく低いところに行ける幕状の雲で霧雲ともいう。気温の高い晴れの日、むくむくした白い雲がぼっかりと浮かんでいる雲が積雲で、日射で温められた地表付近の空気が軽くなって上昇する時、あるいは他の原因で上昇気流が生じた時にできるのが積雲であって、垂直の方向に発達する。積雲が発達して空高くそびえるようになり、雲の上部が氷晶となって平たい形になると積乱雲となる。積乱雲は雷が発生し、強いしゅう雨をもたらす雲であって雲頂に絹雲を伴っている³⁴⁾。

「雲がまばらだと晴れて肌寒くなる。」(チュヴァシュ)

Если облака редкие – будет ясно и холодновато .

「正午になる前に黒くて厚い積雲が現れると晩は雨になる。」(チュヴァシュ)

Если перед наступлением полудня появятся лозматые (черные, кучевые) толстые облака, вечером будет дождь.

「水の上の白っぽい雲が日の出の時にあっという間に見えなくなると晴れ。」(チュヴァシュ)

Беловатые облака над водою , скоро скрывающиеся при восходе солнца – ясная погода .

「雨の時に白っぽい雲が浮かぶと湿った天気になる兆しで、沈む赤い夕日に水色の雲が浮かぶと雨が多くて不安定な天気になる兆し。」(チュヴァシュ)

Беловатые облака во время дождя в сырую погоду означают перемену, а водяного цвета на красноватом заходе солнца предвещают непостоянную и дождливую погоду.

第3節 雲の流れ

雲から天気を予測するには動き方や場所、すなわち雲が空のどの方向にあって、これからどこに向かって流れていくかを観測することも大切である。方位の動きだけではなく、高低の動きからは上昇気流や下降気流発生を知ることができる。直接目にするのでない風の動きを雲の動きから読み

取ること、風の動きや変化を間接的に見ることのできるものである。

「雲が乱れて四方八方に向かっていくと雨。」(チュヴァシユ)

Если облака перемешиваются, двигаясь в разные стороны, будет дождь.

「大量の雲が北からくると晴れ、西からだと悪い天気。」(チュヴァシユ)

Если с севера кучевые облака к вёдру, с запада к ненастью.

「雲が北から南に走ると晴れ、南から北だと天気は悪くなる。」(ロシア)

Облака бегут с севера на юг к вёдру : с юга на север к ненастью.

「日曜日に太陽に向かって西から雲が現れて綿雲になると翌週は雨続き。」(ブルガリア)

雨雲が上にいくと家にいなければならない。」

Если в воскресенье с запада навстречу солнцу покажется облако и разделится на перистые части, в течение последующей недели надо ожидать дождя.

「秋(脱穀の時期)に南の方から雲が現れているのに北の方が晴れているとその日は天気がよいまま。

西の方が晴れていて北の方は雲に覆われていると雨がちな天気になる。」(ブルガリア)

Если осенью (во время молотбы хлеба) на небе показываются облака с южной стороны, а с северной оно ясно погода в тот день простоит хорошая : если же южная сторона ясная, а северная покрыта облаками, то погода будет дождливая.

「雲が風に逆らって行くと雨。」(ウクライナ)

Хмары (облака , тучи) идут против ветра, на дощь.

「雲が低いと雨、高いと晴れ。」(ウクライナ)

Низко хмары иодут на зощь, высоко – на годыну.

「雲が上に行くとき晴れ、下に行くかヶ所に固まると雨。」(グルジア)

Облака идут вверх к ясной погоде : идут вниз или в одно место собираются к дождю.

「空に散らばっている灰色の細かい雲が高いところからおりてくると大粒の雨が降る。」(セルビア)

Если тонкие серые облака рассеяны по небу, собираются и спускаются с высоты, делаясь при этом все гуще и чернее, то будет крупный дождь.

第4節 朝雲と夕雲

日の出と日没、つまり朝焼けと夕焼け時の雲に特に注目し、それらに基づいて判断を下せば朝ならその日のことがわかり、夕方なら次の日の特徴をつかむことができる³⁵⁾。

特に注意を払うべきは朝と夕方の雲の色である。夕雲の赤さは翌日晴れる前兆であり、朝雲の赤さは近く天気が悪くなる傾向にあると世界各地で同様のことが言われている³⁶⁾。

「日の出前に赤い雲が出ると風、黒雲だと雨。」(ロシア)

Красные облака до восхода солнца к ветру, тучи к дождю.

「日の出前に赤い雲が出ると風が出る兆し。赤黒い雲だと雨。日没前の赤い雲は晴れの兆し。」(アルハンゲリスク)

Красные облака перед восходом солнца предвещают ветер, красные и черные дождь :
красные облака перед закатом солнца предвещают ясную погоду.

「夕方から赤い雲、鎌を用意。朝の赤い雲は悪天候。」(ロシア)

Красные облака с вечера бери серп и иди ждать : красные облака утром будет ненастье.

「夕焼けの時に空が北から雲で覆われると風が出る。」(ハリコフ)

При заходе солнца затягивает небо с севера к ветру.

「夜にかけて東の地平線にぼんやりと青白い雲が出て太陽が雲に覆われると翌日は夏なら雨、冬なら雪。」(アルハンゲリスク)

Если с востока небосклона покажутся на ночь синевицы (облака тускло-синего цвета), и солнце станет перекрывать (скрываться за облаками), то будет на завтра летом дождь, зимою снег.

第四章 雪に関する気象俚諺

第1節 雪の形成

空に浮かんでいる雲は空気中の水蒸気が上昇中に凝結してできるが、上昇中に周囲の気温が氷点下になっても直ちに凍るわけではなく、更に上空の雲まで水滴の状態であるこれを過冷却という。雲の水滴が凍結し始めるのは-20 ぐらいからで、-40 ぐらいで殆ど氷晶(氷の結晶)となる。この氷晶が雲の中や落下する途中で触れた水蒸気が昇華して付着し、その時の水蒸気の量や気温の状態によって六角柱・六角板あるいは樹脂状・針状・星状などの六角形の結晶となったのが雪である。また、寒い地方では堅くてサラサラした雪となり、そうでないところでは落下中で溶けて雪どうしがくっついてボタン雪になる³⁷⁾。

第2節 冬の始まり

初雪には特別な意味が与えられている。初雪の降った日を目安として、例年に比べて冬の到来が早いか遅いかの見当をつけることができるからである³⁸⁾。また、初雪から根雪に入る時期を予測するのに都合がよく、初雪が見られてから根雪が見られるようになるまでの期間が経験に基づいてほしいわかっていれば、それをもとにしてその冬の積雪時期を予想することができる³⁹⁾。

「初雪は冬が始まる40日前に降る。」(ロシア)

Первый снег за сорок дней до зимы выпадает.

「秋最初の雪が嵐をとまなうとまだ本格的な冬にはならない。」(ペルミ)

Если первый осенний снег с бураном ----- то зима еще не установится.

「秋に木の葉が散り始める前に雪が降るとすぐに溶ける。」(ヴォロネジ)

Если выпадает снег осенью, когда еще деревья не сбросили листьев, то он скоро растает.

「冬に初雪と厳しい寒さの後に雪もよの暖かい日が長く続くと、初雪が降った日から雪どけの日までかかった日数分だけ寒い日が続く。」(ロシア)

Если после выпадение первого снега и наступления морозов случится зимою продолжительная оттепель, то после этой оттепель будет холодно еще столько дней, сколько прошло от выпадения первого зимнего снега до оттепели.

本格的な冬が始まれば、農民は屋外での作業を続けることができなくなる。秋に降る雪や最初の吹雪は、春から続いた労働の終わりを意味することから、厳しい冬の始まりを告げるのと同時に、労働者たちを大いに喜ばせるよい知らせでもある⁴⁰⁾。

「吹雪が巻き上げると牧童は間が出来る(歌を歌って時間を過ごす)。」(モギリヨフ)

Метель повивает, пастух успевае(распевае).

「表に氷が張れば鍛冶屋は八チミツ酒が飲める」(モギリヨフ)

На дворе лед ковалям мед.

第3節 雪の種類

降雪は大きく二つにわけられる。粉雪は気温の低いときに降る細かな雪の結晶で、空中に舞い上がりやすく地吹雪を起こしやすい。一方、ぼたん雪は気温の高いときに降る水分を多く含んだ重い雪で、着雪の被害を起こしやすい。

「綿雪はどっしりと降る。」(ロシア)

Снег пухом валит.

「粉雪が降っている間はその場所を動くな。」(チエルケス)

Когда идет мелкий снег, то с места не уезжай.

第4節 冬の終わり

春遅くに雪が降ると、その雪がたとえ長く残らないにしても農民たちに不安の念を呼び起こす⁴¹⁾。

「春雪は冬のなごりを一掃する。」(ロシア)

Весенний снег уносит остатки зимнего.

「早くとけ始めると、溶けきるのに時間がかかる。」(ロシア)

Рано тает долго не растает.

「月夜に雪はとけない。」(キルギス)

В лучную ночь снег не тает.

「雪の表面にあるわらが(穴に落ちたように)消え失せると1ヵ月後に雪がとける。」(チュヴァシユ)

Если соломинка, лежавшая на поверхности снега, провалилась через месяц снег сойдет.

「家畜の足跡が消えてなくなると暖かくなる。」(チュヴァシユ)

Если следы от скотины растаяли будет тепло.

「春に谷間にある川岸沿いでとけきらない雪がかたまりとなって残っているとまだ雪が降る。」(コヴノ)

Если весной снег кусками остается не растаявшим на долинах по берегам рек будет еще снег.

第5節 雪と豊凶

「雪の降り方と積もり方は百姓に夏の収穫を教えてくれる(Как снег пойдет да как ляжет, так лето мужику про жнитво скажет.)」ということわざが示す通り、その年に降る雪の量は来るべき収穫の時期の豊凶予測と密接な関わりがあるとされている⁴²⁾。雪が多い年は、春になって雪どけ水がたたくさん流れるため灌漑用水が豊富となり、農作物の豊作につながるかと、雪が積もることで害虫が少なくなるとか、雪に覆われると雪の下の地面は暖かくなり植物は寒さから守られるなどといろいろ言われている⁴³⁾。そういったことから、雪深かった冬の後には人々に豊作をもたらす。

「雪が新年まで降れば秋蒔きライ麦が豊作、その後も降り続くと春蒔きライ麦が豊作。」(ウクライナ)

Как снег идет до нового року (до нового года), буде врожай на озимину, а после нового року --- на ярыну.

「冬の寒さが厳しく雪が少ないと夏は実り多い。」(エニセイスク)

Если зима была морозная и малоснежная, то будет лето хлебородное.

「雪が多くて暖かい冬は実りの多い夏をもたらさない。」(エニセイスク)

Теплая и снежная зима предвещает необильно хлебородное лето.

この違いは寒さや雪が農作物にとって恵みとなる地域と、反対に害になる地域との差によるもので

あるとしたら、どちらのことわざもそれぞれに確かなものであると考えられる。

第6節 雪と長期的展望

雪の降る状況とその特徴によってさらに次のような長期的展望に立った天気を予報する気象学的観測が生まれてきた。

「雪の水分が多くぎっしりしているとジメジメした夏、乾いた軽い雪だと乾燥した夏。」(ロシア)

Если снег плотный и мокрый к мокрому, если снег сухой и легкий к сухому лету.

「冬が雪深いと夏は雨が多い。」(ロシア)

Если зима снежная лето дождливое.

おわりに

科学的手段のない時代から、農民達の生活体験に基づいて生み出された気象俚語は、洋の東西を通して数限りなく存在している。もちろん、玉石混交であって、科学的な説明のつくものもあれば、迷信めいたものもある。最近の科学文明のおかげで私たちの生活環境が急変したこともあり、昔ほどに自然の変化に影響されなくなってきたが、自然と闘った古人たちが生み出した気象俚語のうち、長く生き残っているものには何らかの根拠が認められるものが多い。科学的に優位な現代の立場に立って、過去の経験を全く未熟なものとして裁断するのではなく、無数に存在する気象俚語の中から質の高いものをさらに見つけ出し、これらを正当に評価していく必要がある。

また、本稿では「風」「雨」「雲」「雪」に関する気象俚語に限られてしまったが、今後は「虹」「雷」「雹」「露」「霜」といったその他の気象現象や、「太陽」「月」「星」などの天体と天気との関係性、さらに「花」「草木」「動物」「昆虫」などの動植物に見られる気象予知にも研究の範囲を広げて行きたい。

注

- 1) A.Ермолов 《Народное погодоведение》 Руская книга, Москва, 1905、115ページ。
- 2) 南利幸「ことわざから読み解く天気予報」NHK出版、東京、2003、134ページ。
- 3) 加藤一男「お天気占い入門」富士書房、東京、1979、29ページ。
- 4) A.Ермолов 《Народное погодоведение》122 - 123ページ。
- 5) 加藤一男「お天気占い入門」 31 - 33ページ。
- 6) 同上、 34ページ。
- 7) 「平凡社版気象の事典」東京、平凡社、1999、153ページ。
- 8) 同上、153ページ。
- 9) 細田剛「天気がわかることわざ事典 - 富士山を中心として」自由国民社、東京、1991、85 - 86ページ。
- 10) A.Ермолов 《Народное погодоведение》135ページ。
- 11) 「気象の事典」157ページ。
- 12) 加藤一男「お天気占い入門」33ページ。
- 13) A.Ермолов 《Народное погодоведение》131ページ。
- 14) 同上、124ページ。
- 15) 同上、135ページ。
- 16) 大後美保「四季の農業気象」朝倉書店、東京、1957、88ページ。
- 17) A.Ермолов 《Народное погодоведение》139ページ。
- 18) 大後美保「四季の農業気象」90 - 91ページ。
- 19) 大後美保「四季の農業気象」91ページ。
- 20) 同上、91 - 92ページ。
- 21) 同上、92ページ。
- 22) 「気象事典」102 - 103ページ。
- 23) 細田剛「天気がわかることわざ事典 - 富士山を中心として」39ページ。
- 24) A.Ермолов 《Народное погодоведение》154ページ。
- 25) 同上、153ページ。
- 26) 大後美保「天気予知ことわざ事典」東京堂出版、東京、1999、127ページ。
- 27) 細田剛「天気がわかることわざ事典 - 富士山を中心として」41ページ。
- 28) 加藤一男「お天気占い入門」104 - 107ページ。
- 29) 安藤隆夫「雲 - 気象歳時記」23ページ。
- 30) A.Ермолов 《Народное погодоведение》 157ページ。
- 31) 水野量「雲と雨の気象学」日本書籍、東京、1980、5 - 7ページ。
- 32) 加藤一男「お天気占い入門」2 - 3ページ。
- 33) 同上、4ページ。
- 34) 同上、5 - 6ページ。
- 35) A.Ермолов 《Народное погодоведение》159ページ。
- 36) 大後美保「天気予知ことわざ辞典」53ページ。
- 37) 細田剛「天気がわかることわざ事典 - 富士山を中心として」55ページ。
- 38) A.Ермолов 《Народное погодоведение》213ページ。
- 39) 大後美保「四季の農業気象」163ページ。
- 40) A.Ермолов 《Народное погодоведение》215ページ。
- 41) 同上、219 - 220ページ。
- 42) 同上、212ページ。
- 43) 細田剛「天気がわかることわざ事典 - 富士山を中心として」61ページ。

参考文献

- A.Ермолов 《Народное погодоведение》(Руская книга,Москва, 1905)
- 石島英他 『沖縄天気ことわざ 気象季語から旧暦まで』(琉球新報社、那覇、2001)
- 藤井幸雄 『観天望気入門』(青春出版社、東京、1976)
- 細田剛 『天気がわかることわざ事典 - 富士山を中心として』(自由国民社、東京1991)
- 高橋敬一 『山の天気とことわざ - 立山岳』(北国新聞社、金沢、1982)
- 倉島厚 『日和見の事典』(東京堂出版、東京、1994)
- 城所邦夫 『登山者のための観天望気 ことわざを知って』(山と溪谷社、東京、2000)
- 藤原仁 『福島の天気 暮らしとことわざ』(歴史春秋出版、会津若松、1985)
- 飯田睦治郎 『観天望気のウソ・ホント - どこまで当たる？お天気ことわざ』(講談社、東京、1989)
- 『雑学お天気おもしろ読本 - 最新気象用語からことわざ季語まで』(主婦と生活社、東京、1987)
- 倉島厚 『おもしろ気象学 秋：冬編』(朝日新聞社、東京、1986)
- 神山恵三監修 『学研の図鑑 天気・気象』(学習研究社、東京、1979)
- 村石斗司夫 『異変予知の知恵袋』(池田書店、東京、1976)
- 根本順吉 『天気予報』(日本経済新聞社、東京、1965)
- 藤井幸雄 『お天気と気象のことがわかる本』(日本実業出版社、東京、1982)
- 山口良子 『お天気とくらしと気象の変化』(東京電力お客様相談室、東京、1994)
- 大野義輝・平塚和夫 『お天気歳時記』(雪華社、東京、1964)
- 阿部太一 『稲作豊凶の予知はできないか』(農業荘内社、鶴岡、1977)
- 坪井いた 『新編農業気象ハンドブック』(養賢堂、東京、1974)
- 上条健 『日本の気象と暮らし・生活カレンダー』(日本図書館行会、東京、1994)
- 大後美保 『四季の農業気象』(朝倉書店、東京、1957)
- 大後美保 『新編農業気象学通論』(養賢堂、東京、1980)
- 山中園俊 『農業気象入門』(東京明文堂、東京、1963年)
- 大後美保 『ことわざの真実』(三省堂出版、東京、1956)
- 加藤一男 『お天気占い入門』(富士書房、東京、1979)
- 新田尚 『天気と予測可能性：ひとつの天気予報論』(東京堂出版、東京、1982)
- 飯田睦次郎 『山の天気を知る法 - 実践・観天望気』(東京新聞出版局、東京、1978)
- 飯田睦次郎他 『山の天気予報帳』(山と溪谷社、東京、1982)
- 小川豊 『災害予知と防災の知恵：生物・地名・ことわざに学ぶ』(山海堂、東京、1996)
- 安藤隆夫 『雲：気象歳時記』(日本書籍、東京、1980)
- 水野量 『雲と雨の気象学』(朝倉書店、東京、2000)
- 大野久雄 『雷雨とメソ気象』(東京堂出版、東京、2001)
- 大後美保 『天気予知ことわざ事典』(東京堂出版、東京、1999)
- 『平凡社版気象の事典』(東京、平凡社、1999)